

高等学校 令和8年度（1学年用） 教科

地理歴史 科目 歴史総合

教科：地理歴史

科目：歴史総合

単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 A組～H組

教科担当者：(A組：遠山)

(B組：星野)

(C組：遠山)

(D組：遠山)

(E組：星野)

(F組：遠山)

(G組：星野)

(H組：遠山)

使用教科書：(『明解 歴史総合』(帝国書院))

教科 地理歴史

の目標：

【知識及び技能】地理・歴史の概要を理解し、情報を整理し適切に調べる力を身に着ける。

【思考力、判断力、表現力等】学習した地理・歴史的事象を多面的・多角的に考察し、自己の意見を踏まえて表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】学習した地理・歴史的事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に取り組む態度を養う。

科目 歴史総合

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解する。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、多面的・多角的に考察する。	我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについて自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 歴史と私たち 【知識及び技能】 近代化に関わる史資料を読み解く技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 資料から得た情報と、中学校までの学習で得た知識を統合し、近代化を読み解く問いを表現している。	・問い 私たちの身近にあるものには、どのような歴史や世界との結び付きがあるのだろうか。	【知識・技能】 身の回りの事象と世界の歴史がつながっていることを理解している。 【思考・判断・表現】 身の回りの事象と世界の歴史とのつながりについて考察し、自分の考えを表現している。	○	○		2
	単元 江戸時代の日本と結び付く世界 【知識及び技能】 18世紀における清を中心としたアジアの国際秩序やヨーロッパ諸国との交易について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 銀の動きに着目し、清と近隣諸国、ヨーロッパ諸国との交易の特徴について考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 大西洋三角貿易がアフリカとアメリカに残した課題について考察し、表現している。	・問い 18世紀の日本やアジア、ヨーロッパは、それぞれどのように結び付いていたのだろうか。 ・指導事項 ①アジアの中の江戸幕府 ②成熟する江戸社会 ③清の繁栄と結び付く東アジア ④アジア・アメリカに向かうヨーロッパ ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 18世紀のアジア各地域間やアジア諸国と欧米諸国の貿易と、日本への影響について理解している。 【思考・判断・表現】 「大航海時代」から「世界の一体化」へ至る交易の意義と地域の変容について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 18世紀の交易と現代の貿易との違いについて考察し、その変化の要因を追究しようとしている。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
	単元 欧米諸国における近代化 【知識及び技能】 産業革命の進行と、その結果確立した資本主義による社会の変化について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 産業革命による社会の変化に着目し、現代につながるどのような問題が生じたかを考察し、表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 様々な革命が現代社会に与えた課題を考察し、解決策を追究しようとしている。	・問い 欧米で起こった市民革命・産業革命により、社会はどのように変化したのだろうか。 ・指導事項 ①イギリスの革命とアメリカの独立 ②フランス革命～ヨーロッパ近代の幕開け ③フランス革命の影響と国民意識の芽生え ④産業革命で変わる社会 ⑤イギリスの繁栄と国際分業体制 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 市民社会と国民国家の形成、資本主義社会と国際分業体制確立の経緯を理解している。 【思考・判断・表現】 市民革命および産業革命の経緯などから、諸改革の意義と現在社会との関わりを考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 市民革命や産業革命が現代社会に与えた課題について、解決策を追究しようとしている。	○	○	○	7
	単元 近代化の進展と国民国家形成 【知識及び技能】 国民国家の形成について、ナショナリズムの運動に着目して理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 1848年を転換点とするヨーロッパにおける近代化の経緯について考察し、その特徴を表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 国民国家の形成や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について考察し、解決策を追究しようとしている。	・問い 近代化が進むなかで、欧米諸国はどのような国家を形成していったのだろうか。 ・指導事項 ①1848年～近代ヨーロッパの転換点 ②イタリア・ドイツの統一とロシアの近代化 ③アメリカの拡大と第2次産業革命 ④帝国主義と世界の一体化 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等	【知識・技能】 国民国家の展開と帝国主義による世界分割や移民の状況を理解している。 【思考・判断・表現】 国民国家の形成・発展による対外戦争や差別・抑圧、帝国主義が人類に与えた変化について考察し、自分の言葉で表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国民国家や帝国主義政策が現代社会に与えた影響について、追究しようとしている。	○	○	○	6
単元 アジア諸国の動揺と日本の開国	・問い 近代化した欧米諸国の進出に、ア	【知識・技能】 欧米諸国の進出によるアジア諸国の変容につい					

<p><b>【知識及び技能】</b> ヨーロッパの進出に対し、オスマン帝国、エジプト、イランの3国がそれぞれどのような対応をとったのかを理解している。</p> <p><b>【思考力、判断力、表現力等】</b> 清と日本の欧米諸国への対応における相違点をあげ、その理由について考察し、表現している。</p> <p><b>【学びに向かう力、人間性等】</b> 欧米諸国の進出に伴うアジア社会の変容が現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。</p>	<p>アジア諸国や日本はどのように対応したのだろうか。</p> <p>・指導事項</p> <p>①「西洋の衝撃」と西アジアの変化</p> <p>②南・東南アジアの植民地化</p> <p>③ヨーロッパの日本接近とアヘン戦争</p> <p>④黒船と日本の対応</p> <p>⑤新体制と江戸幕府の滅亡</p> <p>・一人1台端末の活用、史資料の読解等</p>	<p>て理解している。</p> <p><b>【思考・判断・表現】</b> アジア諸国の変容を比較したり関連付けたりして考察し、「西洋の衝撃」の歴史的意義について自分の言葉で表現している。</p> <p><b>【主体的に学習に取り組む態度】</b> 欧米諸国の進出とアジア諸国の変容が現代社会にどのような課題を生み出したかについて考察し、追究しようとしている。</p>	○	○	○	5
定期考査			○	○		1

<p>単元 近代化が進む日本と東アジア</p> <p>【知識及び技能】 日本が、明治維新の諸改革によって急速に近代化を進めたことについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 明治維新の前後で国の仕組みと身分制がどのように変化したか考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。</p>	<p>・問い 日本や東アジア諸国は、近代化を通じてどのように変化していったのだろうか。</p> <p>・指導事項 ①新政府の誕生 ②近代国家を目指す日本 ③日本と清の近代化と日清戦争 ④列強の進出と日露戦争 ⑤日露戦争が与えた影響 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等</p>	<p>【知識・技能】 明治維新とその後の日本の変化やアジア諸国の変容について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 明治維新の歴史的な意義について、現代の日本への影響と関連付けて考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 明治維新やアジア諸国の変容が、現代社会にどのような課題を与えたかについて考察し、解決策を追究しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>単元 第一次世界大戦と日本の対応</p> <p>【知識及び技能】 第一次世界大戦が総力戦化した構造を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦の特徴と戦争の被害が拡大した要因について考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 第一次世界大戦に伴う様々な変化が現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。</p>	<p>・問い 第一次世界大戦は、日本を含む世界の人々にとってどのような戦争になったのだろうか。</p> <p>・指導事項 ①ドイツの挑戦とバルカン半島の緊張 ②総力戦となった第一次世界大戦 ③ロシア革命と大戦の終結 ④大衆社会の出現とアメリカの繁栄 ⑤日本における大衆社会の形成 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等</p>	<p>【知識・技能】 国際関係の視点を軸に、第一次世界大戦勃発から終戦までの経緯と、参戦各国の社会の変化について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 第一次世界大戦の総力戦体制下において、列強の戦闘員・列強の非戦闘員・植民地や従属地域の人々がそれぞれどのような目的で戦争に協力したのかを考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 勢力均衡に基づく国際秩序と大衆の戦争参加が、現在の社会につながるどのような課題を生み出したのかについて考察し、解決策について追究しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>単元 国際協調と大衆社会の広がり</p> <p>【知識及び技能】 大戦後のヨーロッパで、平和を模索する国際秩序が構築されたことと大衆による政治参加が進んだことについて理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 大戦後、各国で大衆の政治参加が進んだ理由について考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序が現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。</p>	<p>・問い 欧米や日本など、世界各地に広まった大衆化とは、どのようなものだったのだろうか。</p> <p>・指導事項 ①ヴェルサイユ体制の成立 ②東アジアの民族自決の行方 ③中東、インドの民族自決の影響 ④ヨーロッパの復興と大衆の政治参加 ⑤大衆社会の出現とアメリカの繁栄 ⑥日本における大衆社会の形成 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等</p>	<p>【知識・技能】 ヴェルサイユ体制によって形成された国際秩序と、国際社会や各国に生じた政治・社会・文化の変化を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 新しい国際秩序と大衆社会の特徴について考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ヴェルサイユ体制に基づく国際秩序の成立と、20世紀前半における大衆社会の到来が、現代社会においてどのような課題を生み出したのかを考察し、その解決策について追究しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>単元 日本の行方と第二次世界大戦</p> <p>【知識及び技能】 ヨーロッパでの戦いから、アジア・太平洋にも及ぶ戦争に発展する経緯に着目して理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 なぜ第二次世界大戦では多くの犠牲者が出るようになったのか考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 大衆の戦争参加が現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。</p>	<p>・問い 大衆は、どのようにして戦争を導いてしまったのだろうか。</p> <p>・指導事項 ①世界恐慌が与えた影響 ②ファシズムの台頭と拡大 ③政党政治に断絶と満州事変 ④日中戦争の始まり ⑤第二次世界大戦の展開 ⑥戦局の悪化と被害の拡大 ⑦第二次世界大戦の終結とその惨禍 ・一人1台端末の活用、史資料の読解等</p>	<p>【知識・技能】 世界恐慌から第二次世界大戦の終戦に至るまでの経緯について、大衆とマスメディアの関わりに着目しながら理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ファシズム体制の形成から終戦に至るまで、ドイツや日本で大衆がなぜ戦争に協力していったのか考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 大衆の戦争への加担という問題を現代社会における課題としてとらえ、その解決策を追究しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>単元 再出発する世界と日本</p> <p>【知識及び技能】 日本とドイツに対する連合国の戦後処理の目的と結果、および国際連合を中心とした国際平和協力について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p>	<p>・問い 第二次世界大戦を経て、国際秩序はどのように変化したのだろうか。</p> <p>・指導事項 ①戦後の新たな国際秩序 ②冷戦の始まり</p>	<p>【知識・技能】 冷戦および冷戦構造の形成と、国連を中心とする平和へ向けた新たな国際秩序について、日本と関連付けながら理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 国際連合を中心に、第二次世界大戦以前と以後の国際関係を比較することで、戦争の経験が</p>				

3 学 期	<p>冷戦がヨーロッパ諸国に及ぼした影響について考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 2度の世界大戦が現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。</p>	<p>③日本撤退後の東アジア ④日本の改革と独立の回復</p> <p>・一人1台端末の活用、史資料の読解等</p>	<p>人々に何をもたらしたのかを考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 大戦後に形成された冷戦構造と国際連合による平和維持体制における課題が、現代社会にどのような影響を与えているかについて考察し、解決策を追究しようとしている。</p>	○	○	○	7
	<p>単元 冷戦で揺れる世界と日本</p> <p>【知識及び技能】 高度経済成長に至る経緯を、55年体制や冷戦に着目して理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 日本が高度経済成長を達成することができた要因を国内外の情勢と関連させて考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 冷戦期における各国の動向を踏まえ、現代社会に与えた影響について考察し、その解決策を追究しようとしている。</p>	<p>・問い 冷戦が展開されるなかで、日本や世界の国々はどのような選択をしたのだろうか。</p> <p>・指導事項 ①アメリカ・ソ連の緊張と緩和 ②冷戦下における日本の復興 ③第三勢力の形成と脱植民地化 ④中東戦争とパレスチナ問題</p> <p>・一人1台端末の活用、史資料の読解等</p>	<p>【知識・技能】 55年体制の形成から高度経済成長に至る日本の動きを、冷戦下の国際情勢を踏まえながらその中に位置づけて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 冷戦下の日本と世界の動向について、政治・経済の関連や諸地域間の比較を通して多面的に考察し、自分の言葉で表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦期における各国の動向、現在の社会においてどのような課題を生み出したのかを考察し、解決策について追究しようとしている。</p>	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
						合計	70